

2009年度 ディアコニア事業計画

1. 利用定員 入所 80名
ショートステイ 8名
デイサービス 20名

2. 職員数 77名

3. 事業開始年月日 2003年5月1日

4. 基本理念 「今、目の前におられるお一人お一人を大切にする」

【1】精神的基盤

- (1) 社会福祉法人デンマーク牧場福祉会 特別養護老人ホームディアコニアは、キリスト教精神に基づく福祉サービスを利用者に提供する。
利用者が、個人の尊厳を損なうことなく自立した日常生活を営むことが出来るようにすることを支援を行うことを目的として、次の事業を行う。
- (2) 理念を実践し、利用者、家族、職員を含め毎朝の礼拝を大切にする。
- (3) 職員に対して深めるため、理念研修（新規及び中途採用者は随時。）により、精神的基盤を学び、加えて、職員に対する相談体制を組む。
- (4) 利用者及び職員と、ボランティア・教会員との交流の機会を積極的に設ける。

【2】運営重点目標

- (1) 介護の基本を再確認し、サービスの質を高める。
- (2) 人材育成に向けて内外の研修への参加できるようにする。
研修報告会を開催し、学んだことを他の職員に還元する機会とする。
事例検討を充実させ、気付きのきっかけとする。
中途採用者の研修（習得目標を定める等）を図る。
- (3) 認知症ケア専門士の資格取得者を奨励する。
- (4) ターミナルケアへの取り組み。（偲びの会の再検討、チーム間の協力・遺族への関わりを更に充実していく）
- (5) 各委員会活動の充実
 - ・感染委員会（肺炎球菌ワクチンの予防接種の検討、水虫対策、清掃の統一）
 - ・事故予防委員会（事故報告を基に改善策の検討）
 - ・拘束予防委員会（「拘束0宣言」についての職員の啓蒙、現状の見直しをする）
 - ・研修委員会（職員の個別研修計画の策定、模擬体験）

5. チャプレン

1 実践報告書の作成

開設以降の取り組みについてのまとめ（記録化）

- ・研修理念・礼拝・公開講座・提言（利用者の精神面に関して）

2. ターミナルケアのチームへの参与、貢献

- ・生命倫理の基本認識の学習（尊厳理解）と形成
- ・利用者と家族の意思決定に関するあり方を模索する（意思確認書や事前相談等）
- ・医療との協働における基本合意の学習と形成

6. 各職場の事業計画

【1】介護老人福祉サービス事業

(1) 介護

- ・ユニットケアを見直す（入居者の希望による外出企画）。
- ・コスト意識を持つ（オムツ等消耗品）。

(2) 看護

- ・チームの一員として各委員会への参加（拘束、事故予防、感染、食事）。
- ・ターミナルケアの充実。
- ・カルテの整理。
- ・記録の共有及び書き方の統一。
- ・施設内研修の充実（拘束、ターミナル、褥創、嚥下、急変時の対応）。

(3) 栄養士

- ・嗜好調査を実施し、献立に反映していく。
- ・栄養ケアプランの充実
- ・モニタリングを徹底し、低栄養者を早期に発見し、医務室との連携を強め、栄養状態の改善に努める。

(4) 相談員

- ・身体拘束・事故防止に関して各部署と協力をして取り組んでいく。
- ・社会資源の勉強をする（成年後見人制度等）。

(5) ケアマネージャー

- ・本人・家族・各サービス協働での施設サービス計画の作成と実施に努める。
- ・サービス担当者会議の定着化を図る。
- ・入居者の日常生活状況の細やかな把握に努める。
- ・中東遠地区勉強会当番施設としての役割を果たす。

(6) 事務

- ・ホームページ・機関誌の充実に努める。
- ・設備の保持、維持を障がい者NPOに委託することを検討する。
- ・業務内容の効率化を図る。

【2】居宅サービス事業

(1) デイサービス

- ・定員 20 名の稼働を確保（1 日平均 18 名を目標）する。
- ・利用者さんお一人お一人ひとりに寄り添った介護につとめる。
- ・職員の介護技術・知識の向上を目指す。
- ・内・外部研修への参加計画を作成し実施する。
- ・リハビリ加算申請を検討する。

(2) ショートステイ

- ・リハビリ加算を申請できる体制を整える。
- ・ショートステイ利用者のケアプランを充実していく。
- ・稼働率向上に対応できる介護職員の充実に努める。

(3) 居宅

- ・ケアプラン作成時はたえず中立・公平な立場に徹する。
- ・介護保険法に基づき、減算対象になるようなケアプランの作成や事業展開はしない。
- ・地域に密着し、利用者や、家族のニーズを適格に捉えるため、フットワーク軽く、アセスメントを聴取していく。
- ・他の居宅事業所と横のつながりを維持し情報交換に努める。
- ・研修会には積極的に参加し、ケアマネージャーとしてのスキルアップを図り、必

要時は速やかに施設内に伝達、報告をしていく。

- ・利用者を中心に「チームで仕事をしている」ことを念頭に置き、共通のサービス事業所と情報を共有していく。
- ・居宅事業所内の守秘義務の徹底をはかる。
- ・管理者は、主任介護支援専門員として、施設内の介護支援専門員の相談援助や教育に携わっていく。

(4) 訪問介護

- ・質の高い介護を目指し勉強会を行う。
- ・スタッフ間の連携をとる。(カンファレンスの実施)
- ・充実した介護計画を立てていく。

以 上

年間行事予定

5月	グリーンフェスタ	こどもの家、まきばの家主催
7月	夏祭り	ディアコニア主催
9月	敬老会	ディアコニア主催
12月	クリスマス祝会	ディアコニア主催

その他季節の行事（節分、ひなまつり、お花見、七夕、お月見、誕生会等）は各ユニットで独自に計画する。